



十文字西 公民館だより

■令和4年度-4号
令和4年 7月 1日発行
〒019-0513
十文字町植田字一ト市330
☎ 44-3100 FAX 44-5243

十文字西地区交流センター長
(兼) 公民館長 近 孝夫



十文字西地区のみなさんお元気ですか。

夏の訪れを感じる7月、後半には夏休みも始まり各地で花火大会やお祭りなど楽しいイベントが多い月でもあります。世界はまだ安定していません。加えて物価高、早く安心安全な生活を取り戻したいものです。

今回は公民館について少し考えてみたいと思います。昭和24年6月10日施行された社会教育法20条によると、公民館は市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育・学術及び文化に関する各種の事業を行い住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的にしております。

つまり公民館は、戦後の荒廃し混乱した社会状況の中で、新しい日本を築き上げるには教育の力が必要であり、その一つに公民館の設置が提唱され、郷土再建の拠点とするところから始まりました。

十文字西地区では、社会教育法施行6年後の昭和30年4月1日に設置され、平成3年4月1日十文字西公民館(植田・睦合)として現在に引き継がれております。設置当初から公民館長は次のとおりです。

●植田公民館長

松田範次郎(S30年4月 1日~S40年12月20日)
柴田 武(S42年4月 1日~S43年 3月31日)
茂林 牧童(S43年4月24日~S47年 3月31日)
菊池 久作(S47年5月 1日~S51年 4月30日)
泉川 七郎(S51年5月 1日~S57年 4月30日)
近 尚太郎(S57年5月 1日~H 3年 3月31日)

●睦合公民館長

信太 吉治(S30年4月 1日~S36年5月31日)
佐藤 義一(S36年9月 1日~S45年3月31日)
小川 英二(S45年4月 1日~S51年4月30日)
最上 健吉(S51年5月 1日~H3年 3月31日)

※平成3年以降は次回掲載します。

～ 偉人の言葉に学ぼう ～



◆心に響く「論語」より

「子曰く、苗にして秀でざる者あり。秀でて実らざる者あり。」

～ 苗まで育ったのに穂を出さないのもいる。

穂を出した方がいいが、実を結ばずに終わるのもいる。 ～

《意味》もうあと一歩の努力をするかしないかで、運命は変わってしまう。

★～懐かしいふるさとの情景～ 「故 梶原徳行さん絵画展」のご報告



5月末日まで開催した絵画展ですが「情報連絡紙あっちこっち」や秋田魁新報県南版への掲載のおかげで、親戚や同級生を含め70人以上に観賞していただきました。

絵画の紹介者で梶原さんの同級生である播磨貞治さん御夫妻も来場され、お手製の木工作品を寄贈していただきました。

皆さんは昔を懐かしみながら、素朴な味わいの作品を堪能されていました！



★安心安全教室開催！6月26日(日) 西地区館 多目的ホールにて

横手警察署による「交通安全と特殊詐欺防止」の講話と交通事故防止につながる体験、さらに秋県警音楽隊による音楽鑑賞会を実施し、90名ほどが参加しました。

参加者の皆さんは、わかりやすい講話と体験を通じ、運転等日ごろの行動の大切さを改めて実感した様子でした。また、音楽隊の演奏は「太陽にほえろ」のテーマ曲から始まり、定番のマーチや大河ドラマ「鎌倉殿の13人」、歌謡曲、ディズニーメドレー、演歌メドレー等、バラエティに富んだ内容であり、その迫力ある音色が会場に響き渡り、カラーガード隊の美しい演技を含め、参加者は感動のひとつきを過ごすことが出来ました！



❀ 梅雨明けが待ち遠しく感じる今日この頃、夏日が多く、マスク着用にも注意が必要な日々が続いています。たまには深呼吸して気分をリフレッシュしてみませんか！（事務局）

